

第54回 鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会

2月17日から21日までの5日間、第54回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が、県内53区間592.7kmで行われ、県内12地区の選手たちが郷土を代表してレースで健脚を競いました。

川薩チームは、Aクラス復帰と県北部豪雨災害の被災地に元気と活力を与えるよう力走を繰り広げました。沿道での地域の熱い声援を受けて、大会第2日目の18日では、南さつま市から出水市までの10区間114.7kmで、12年ぶりの日間優勝を果たしました。

大会第3日目の19日は、地元の声援を受けながら、宮之城鉄道記念館前第4中継所と求名公民館前第5中継所で、力走を見せる選手が次走者へ次々とタスキをつなぎました。「県北部豪雨で被災した地元の人たちに元気を与えられるような走りを見せたい」と話していた柘野在住の東條和廣選手（第一工大3年生）は、第4中継所に倒れ込みながら入り、甲斐真一選手へたすきをつなぎました。各選手の力強く懸命に走る姿は、沿道で小旗を振り声援を送る地域の住民に、元気と勇気を与えてくれました。

総合成績		
順位	チーム	所要時間
1	始良	31.48.37
2	曾於	31.51.32
3	鹿児島	32.12.54
4	肝属	32.21.58
5	川辺	32.25.13
6	川薩	32.37.09
7	日置	32.38.14
8	出水	32.44.16
9	伊佐	32.53.34
10	指宿	32.56.50
11	熊毛	33.15.00
12	大島	33.29.11



倒れ込みながら中継所に入る東條和廣選手（右）とタスキを引き継ぎ走り出す甲斐真一選手（左）

読み終わったら故郷を離れている

家族や知人に送りましょう

2月20日、東京のニッショーホールで行われた消防関係表彰式で、さつま町消防団が、平成18年度防災功労者消防庁長官表彰状を授与されました。

この表彰は、大規模な災害にあたり、活動が顕著であった団体に授与されるもので、全国で7団体に授与され、鹿児島県からは他に薩摩川内市消防団、菱刈町消防団も受賞しました。

さつま町消防団は、昨年7月の豪雨災害時に町内各地で避難誘導や応急復旧活動を行い、川内川流域では急激な増水のため逃げ遅れた54人の方を救助しました。

また、豪雨の中、建物火災が発生し、消火活動に従事した他、行方不明者の捜索も行うとともに、水位が下がった24日から31日までの間、被災地の道路洗浄や家財道具搬出などの作業を行いました。

今回の受賞は、これらの活動が認められたものです。

「防災功労者 消防庁長官表彰」を受賞



消防庁長官表彰状と榎山団長



観音滝公園滝の宿遊歩道に植樹する上埜さん



5,000本の岩ツツジ山

先月号で紹介しました、観光まごころ県民運動会長表彰を受賞された上埜富雄さんの岩ツツジ山が今年も見事な淡い紫色に染まりました。

今年は暖冬のせいか満開を迎える時期が早く、3月中旬の週末などは花見客で賑わっていました。

また、観光地づくりの取り組みとして、観音滝公園滝の宿遊歩道に10年生の岩ツツジを植樹されました。

今年も満開！岩ツツジ